

# 秀吉の天下統一

羽柴秀吉は、主君信長の弔い合戦に勝利を取めて後継者の地位を獲得し、石山本願寺跡に大坂城を築いて畿内支配を不動にした。徳川家康との衝突は両者の和解で結着したが、両者の政治的緊張関係は、豊臣政権の全過程を通じて存在していく。秀吉はこの緊張関係を維持しつつ、関白として国家統治の任にあたった。

## ○信長の後継者

### ●秀吉の統一事業

織田信長の天下統一の野望は<sup>(1)</sup> \_\_\_\_\_ に受け継がれた。

#### ①1582年、山崎の合戦

…信長を倒した明智光秀を破り、織田氏の継嗣決定の主導権を掌握

◇織田氏の継嗣は信長の孫に決定

#### ②1583年、<sup>しずがたけ</sup>賤ヶ岳の戦い

…秀吉の動きに反発した柴田勝家を打倒

#### ③1583年、石山本願寺跡に<sup>(2)</sup> \_\_\_\_\_ 築城開始（1588年にほぼ完成）

#### ④1584年、小牧・長久手の戦い

…信長の次男織田<sup>のぶかつ</sup>信雄と徳川家康の連合と戦い、<sup>わぼく</sup>和睦で決着

◇織田氏の継嗣決定後、信雄は秀吉と対立

#### ⑤1585年、<sup>(3)</sup> \_\_\_\_\_ 就任

…天皇の権威を盾に、全国の大名に停戦を命じる<sup>(4)</sup> \_\_\_\_\_ を出す権限を獲得

◇(4) …従わない場合、天皇への忠義の欠如と理由をつけて制裁可能

#### ⑥1585年、四国平定

…<sup>ちようそかべもとちか</sup>長宗我部元親の服属に成功

#### ⑦1586年、太政大臣就任（関白と兼任）と豊臣の賜姓

#### ⑧1587年、九州平定

…(4) に従わない島津義久の服属に成功

◇九州は対外関係の窓口であり、平定後、秀吉は海外進出を熱望

⇒対馬の宗氏を通じて、朝鮮に明へ出兵するための先導を求め、

拒否されると、拠点として肥前に<sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_ を築き、朝鮮に派兵

#### ⑨1588年、京都に造営した<sup>(6)</sup> \_\_\_\_\_ で後陽成天皇を歓待

…天皇の前で、諸大名に秀吉への忠誠誓約に成功

#### ⑩1590年、小田原攻め

…関東の<sup>(7)</sup> \_\_\_\_\_ 氏を攻め、北条氏政の滅亡

#### ⑪1590年、奥州平定

…<sup>だてまさむね</sup>伊達政宗ら東北の諸大名の服属に成功

⇒天下統一を達成



図1 羽柴秀吉



図2 織田信雄



図3 後陽成天皇



図4 聚楽第に向かう後陽成天皇



1588年、聚楽第で天皇歓待



1583年、賤ヶ岳の戦い  
(図：柴田勝家)

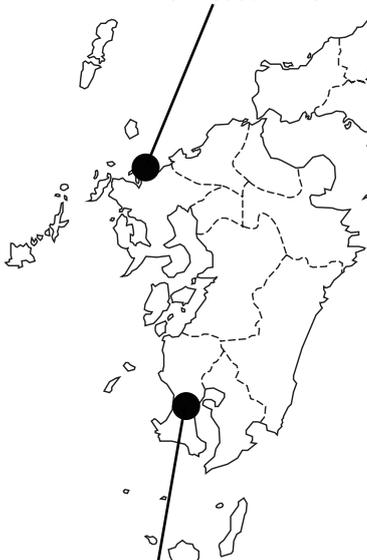


1590年、奥州平定  
(図は伊達政宗)



1583年、大坂城築城

1591年、名護屋城築城



1582年、山崎の合戦  
(図：明智光秀の陣営)



1590年、小田原攻め  
(図：北条氏政)



1587年、九州平定  
(図：島津義久)



1585年、四国平定  
(図：長宗我部元親)



1584年、小牧・長久手の戦い